栃木県

2024年11月時点

管内

JA全農及び株式会社JAグリーンとちぎは、15kg袋と軽量で、作業の省力化にも繋がる 栃木県内の家畜ふんを主な原料とし、堆肥を30%と米ぬかを10%使用したペレットタイプ の混合堆肥複合肥料を製造。

■国内資源の種類

■肥料の種類・肥料名称

■取組の経緯・内容・成果(見込み)

・県内の家畜ふん (主に牛ふん)

混合堆肥複合肥料 まどかちゃん

■作物

・米ぬか

■保証成分量(%)、特徴等

園芸作物全般及び 米、麦、果樹など

N	Р	К	有機質	うち堆肥 割合
10%	10%	10%	40%	(30%)

取組の経緯

JA全農及び株式会社JAグリーンとちぎでは、畜産が盛んな栃 木県の地域資源ともいうべき堆肥を有効活用することで、循環 型農業、耕畜連携の一層の進展を図ることを目的に開発。 取組の内容

肥料メーカーの朝日アグリア協力のもと、県から産出する牛 ふん堆肥を主に使用して製造している。ペレット状なので散布 がしやすく、製造時に火力乾燥しているため、雑草種子や病原 菌の心配がないことが特徴。

成果(見込み)

- ・無機質と有機質の配合成分バランスがよいため、土づくりの 効果も期待でき、土壌を荒らしにくく、施肥の省力化が図れる。 臭いも少ないので、家庭菜園等でも使用しやすい。
- · 令和5年度供給実績 88.35 t

10 10 10

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者

栃木県内 畜産農家 肥料製造者

(株)JAグリーン

朝日アグリア(株)

とちぎ、

販売事業者

JA全農 栃木県本部 ·県内JA

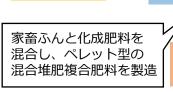
販売

栃木県内 農家

肥料利用者

■今後の課題・取組

- ・地場の堆肥を使用する上で、畜産農家の堆肥舎から、 肥料製造工場までの運送コスト低減が課題。
- ・肥料原料の国際価格が下落し、混合堆肥複合肥料より、 肥料銘柄によっては化成肥料の方が製造コストが低い 傾向にあり、肥料利用者に価格面でのメリットが伝わ りづらい。
- ・原料とする堆肥に含まれる敷料等が肥料製造時のネッ クとなっており、原料の高品質化・周知徹底が課題。



家畜

ふん

化成肥料